

初

男性ガイド 兼六園に登場



特別名勝の兼六園で3日まで、男性初の観光ガイドが登場した。同園横の兼見御亭に勤務する土本泰之(さん)24。金沢市直江北一丁目。で、3月から兼六園観光協会所属ガイドとしてデビュー。土本さんは「ふるさとの魅力を伝えたい」と県内外の旅行者に笑顔で園内の見どころを紹介している。

金沢出身 24歳の土本さん

観光客に笑顔で紹介

兼六園の案内は、兼六園観光協会所属の6茶店や石川県観光物産館、兼見御亭の従業員らが務めている。ガイドになるには、各店での見習い研修後、同協会の推薦で県に登録申請する必要がある。同協会によると、45年ほど前にガイド制度が

「ふるさとの魅力伝えたい」

できて以降、女性しか登録されていなかったという。

大阪から戻り

土本さんは星稜高から大阪学院大に進学。卒業後は地元で貢献できる仕事があったと金沢に戻り、今年2月に兼見御亭に入社した。フランスのミシュラン社が発行した観光ガイド本で兼六園が三つ星を獲得したこともあり、ガイドの仕事に興味を持ったという。教本で兼六園に関する知識を習得し、先輩の女性ガイドについての研修後、3月から本格的にガイドとして独り立ちした。

時間通りに園内を回るなどガイドの難しさも感じている一方、案内した観光客から手紙も届き、やりがいを感じているという土本さん。「1度の旅行でどれだけ金沢の魅力を知ってもらえるかが勝負。来て良かったと思えるガイドがしたい」と意気込んでいる。

兼六園初の男性観光ガイドとなった土本さん

兼六園